

第6期四国中央市自立支援協議会 第5回会議 議事録

開催日時	2019年5月13日(月) 19:00 ~ 20:30				
開催場所	市民交流棟2階 会議室1・2	司会	事務局	記録	事務局
参加者 (敬称略)	委員14名・福祉部長				
事務局	4名				
協議内容					
<p>1.開会</p> <p>2.会長挨拶</p> <p>5月は10連休という長期休暇で支援者は不安だったと思う。 実際、当事者が環境の変化で不安定になる面が見られた。 日常の大切さと、変化の苦手な当事者に対応できる支援体制の必要性を休み明けに改めて感じた。令和になった。昭和、平成と時代とともに支援体制の充実を積み上げてきた。新たな元号となり、これまでの課題を解決できるように努めるとともに、これを機に新しいものに挑戦していけたらと思う。</p> <p>3.人事異動による行政の体制報告及びあいさつ</p> <p>4.配布資料</p> <p>(1) 会議資料</p> <p>(2) 資源開発部会家族向けアンケート</p> <p>(3) 平成31年度 四国中央市障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るための方針</p> <p>(4) MOTTO ART 展作品募集チラシ</p> <p>(5) もっとあったマルシェ チラシ</p> <p>5.議事</p> <p>議長：報告事項①各専門部会及び連絡会から昨年度活動報告と今年度活動計画を各部会長からお願いたい。</p> <p>(1) 拠点整備部会</p> <p>資料は9・10ページ。2018年度は9回開催。地域生活支援拠点整備のあり方を検討し併用整備型のイメージ図を策定して中間報告を行った。権利擁護も協議を重ね2016年度策定リーフレット見直しをすることにした。</p> <p>これらを踏まえ、今年度、具体的な検討協議を行い第8回自立支援協議会で協議事項として提案する予定。また、成年後見等高齢介護分野との連携、各専門部会連携に取り組む。</p> <p>(2) 資源開発部会</p> <p>資料11・12ページ。2018年度9回開催。ニーズ調査により本市社会資源で必要な資源を検討することとした。本任期中に支援者・家族・当事者の3種類のニーズ調査・分析を実施する方針で、2018年度は支援者向けアンケートによるニーズ調査を行った。調査対象・期間・調査方法等は記載のとおり。家族向けアンケートも実施し、現在集計中。当事者向けアンケートは設問内容を協議中である。本日、家族向けアンケートを提出。</p> <p>今年度は、昨年度事業を引き続き実施し、その結果を分析。本会にて報告する。</p>					

第6期四国中央市自立支援協議会 第5回会議 議事録

(3) 地域共生部会

資料 13・14 ページ。昨年度 10 回の会議を開催。ニーズに対応するサービスの方策検討のためのアンケート調査を行った。分析等を資源開発部会にお願いすることにした。

福祉・介護・医療の連携強化を目指し、介護支援専門員連絡会で障がい福祉の講演を行い理解促進に努めた。また支援者研修会を実施し 102 名の参加者を 16 グループに分け顔が見える関係づくりの構築を行った。次に市内の障がい福祉サービス事業所等が一堂に介し、住民参加、住民理解の促進を目的に、防災等をテーマに「ぼうさい学校」を開催した。

2019 年度は、「地域で生きる（暮らす）を支援する」を目標に、昨年度に引き続き支援者研修会を実施するとともに、ぼうさい学校に常任委員会が基本に実施した「事業所説明会」の要素を加えて、事業所の紹介や当事者との交流などの研修会を行う予定である。

(4) 相談支援専門員連絡会

資料 15・16 ページ。連絡会は 12 回開催。内容は事業所マップ作製。法改正に伴う新サービスや基準の学習会、困難事例の研究などを行った。また、昨夏の災害支援の報告等も行っている。開催は月 1 回だが、今年度も引き続き月 1 回開催していく。活動内容は、これまでどおり市内相談支援専門員の情報共有・連携強化に加え、東予相談支援専門員連絡会への参加等も目指していく。その他事業については記載のとおり。

(5) 特別設置部会

昨年度 2 月で承認頂いた提言書を 3 月 22 日に市長・副市長に報告した。今後、それを踏まえて行政で検討してもらっている。

- 議長 : 以上で説明が終わった。質疑があれば発言を求める。
- 質問 : 資源開発部会のアンケートの結果報告はいつになるのか。
- 回答 : 次回協議会で報告できるよう準備している。
- 提案 : 自分にどのような支援ができる模索している。今回アンケートを自分の活動にも活かしたいと思うので期待している。
- 提案 : 今後予定されている当事者アンケートでその意見・要望等をできるだけ聞き取れることを望む。
- 回答 : 当事者からの意見聴取は困難を予想している。できる限り対応したい。
- 質問 : 地域共生部会で徴取したアンケートの対応は。
- 回答 : 地域共生部会のアンケートは、医療機関等を対象に入所者・入院者等のサービス利用の種別・人数等実態数値を把握したもの。今後資源開発部会の調査に活用してほしいと思う。
- 議長 : 以上で質疑を終了する。各部会大変だと思うが事業推進にご尽力をお願いする。次に協議事項「2019 年度四国中央市就職準備フェアの開催について」を議題とする。
- 説明 : 資料 17 ページ。この案は昨年度を参考に作ったイメージであり、これを基本として今年度実行委員会を立ち上げて事業運営を行うことを提案させていただきたい。その組織構成として、経費を含めジョブあしすと UMA と自立支援協議会が協力して運営できる体制をお願い今年度も事業を実施することを提案したい。

第6期四国中央市自立支援協議会 第5回会議 議事録

- 議長 : 以上で説明が終わった。質問があれば受け付ける。
- 質問 : 対象者は。
- 回答 : 過去の例では障がいがある方やその家族で職を求める方を対象としていた。
- 質問 : 参加率は。
- 回答 : 去年は 89 人
- 提案 : 高校生対象に別組織で事業を実施したが参加率が非常に悪かったと聞いている。このような事業も教育機関に協力体制をいかに求めるかにより参加する方も増えるのではないか。
- 回答 : 就労について、福祉分野のみで行うのではなく行政全体での取り組みが必要であることでの提言だと思う。できる限り連携できる体制を目指したい。ただし、その方針の実現には相当な困難を要すると思われる。
- 質問 : 障がい重度はどのようなイメージを持っているのか
- 回答 : 就労を希望する方には千差万別であり、重度の定義については明確にお答えしかねるが、それぞれの特性を見極め就労に繋がるよう配慮している。
- 提案 : 障がい者という名前をいれることで参加することが難しいと思う人が多いのではないか。
- 提案 : 障がい者という名称を除くならば、申し込み年齢を高校生から 60 歳などと限定し、具体的な対象をジョブアシスト UMA の相談対象者等を対象とするなどすることで就職準備フェアの名称をすることも可能では。
- 回答 : 障がいがある方が就労するには本人の自覚、事業者の理解等双方のマッチングが重要であり、障がいがあるなしにかかわらない就労支援策は困難だと思っている。しかし、参加しやすい環境づくりのご提案は一理あると思うので今後の検討課題としたい。
- 質疑 : 門戸を広げる方策も検討が必要かもしれない。皆さんの意見を取り入れながら実施できたらと思う。これまでに高校生がこのフェアに参加した実績はあったか
- 回答 : 高校生の参加はあったし、そこから就労に繋がったこともあった。
- 議長 : 様々な意見を頂いた。できる限りみなさんの意見を反映していくが、まず、自立支援協議会として実行委員会に参画し、運営していくことについて賛成の方は挙手を。
(賛成多数)
- 議長 : 賛成多数。本議案は承認された。次回会議では運営内容等が協議できるよう準備を願う。これで議事を終わる。
6. その他
- 事務局 : その他に入る。委員から何かあれば発言を求める。
- 報告 : 6月2日「MOTTO あったマルシェ」が開催される。障がいのある方の作品展やダンスステージ。サルサガムテープライブなど多くの催しを用意した。当日他のイベントが多く重なっているようだがぜひご参加いただければと思う。
- 報告 : 平成 31 年度四国中央市障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進を円滑にするための方針(案)を示したい。承認案件であるので議事として提案しなければならない

第6期四国中央市自立支援協議会 第5回会議 議事録

かったので、説明後承認を求めることとなるのでご了承いただきたい。目的等は記載のとおりである。今年度は調達目標を46件460万円で設定したい。ご意見があれば賜る。

質問 : 販売しているものが何かわからない。

回答 : 障がい者就労支援施設で作った花の販売や清掃活動等を優先して調達している。具体的な一覧表等も改めてお示しできたらと思う。

提案 : 優先調達が行政のみだが、それ以外民間へ販売等が活性化できるような方策も検討すべき。

回答 : 今後の検討材料としたい。目標について決議を求める。
(賛成多数)

事務局 : 賛成多数。本年度優先調達目標を記載のとおり定める。

事務局 : 8ページの今年度の会議スケジュールだが昼間開催の提案がある。このことに意見を求める。

質問 : 具体的な時間設定はあるのか

回答 : 15:00から17:00が妥当と考える。

提案 : 子どもの世話とか仕事とかを考えると参加が難しいのでは。

提案 : 自分は大丈夫だが他の人で困難な方がいられるのは無理する必要はないのでは。

事務局 : 今回は継続審議として、夜開催で進めていき、次回開催日は、7月19日(金)19:00~としたい。以上で第5回会議を終了する。

7. 閉会